

大学院『専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈学生の受け入れ方針〉

人間科学専攻（教育学分野）博士前期課程

1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

教育学に関する幅広い視野及び精深な学識と研究倫理を有し、グローバル時代における現代社会の諸課題に対する探求心や問題解決力を身に付け、教育と人間の発達・成長の支援に関する実証的な研究能力または教育の現場や国際協力活動、生涯学習などの分野で協働的に職務を遂行できる能力を持ち、さらには自らの専門性に基づいて地域および国際社会に貢献することのできる総合的な思考力と判断力を備えた人物に修士（人間科学）の学位を授与します。

2. 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

心理学、哲学、教育学にわたる多角的な視点を踏まえて幅広く人間科学全体を鳥瞰するために「人間科学基礎論」を置き、その上に焦点化された研究を可能とするために3つの研究領域の柱を立てています。幼児教育および初等中等教育をめぐる諸問題等を扱う「教育実践研究」、生涯学習の理論やシステムに関する研究を行う「生涯学習研究」、グローバルとローカルの双方向の視点から諸外国の教育制度・政策、国際教育協力等について扱う「国際教育研究」の3つの研究領域であり、これを中心にカリキュラムを構成し、研究を深めて修士論文を作成します。しかし、上記の3領域が重複する研究課題の設定も可能であり、幼・小・中・高の専修免許取得も可能です。修士論文作成に向けた研究指導、論文作成指導の機会はカリキュラム上も、研究指導體制上も十分に保障されます。

3. 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受け入れにあたって次のような点を重視します。

1. 人間の成長や社会の発展を支える教育および学習の在り方に対して強い関心を持ち、学士課程修了程度の教育学の素養と英語能力があること。
2. 教育および人間の成長発達の支援に関する研究の課題意識が明確であり、計画性をもって有意義な研究を進めることが期待できること。
3. 修了後は専門性に基づいて、学校教育、生涯学習、国際教育協力、マスメディア、情報等の分野で社会に貢献することを目指していること。

なお、特色あるカリキュラムとして「教育実践研究」「生涯学習研究」「国際教育研究」の3研究領域を設定していますが、入学者募集においては区別をしていません。また、いずれの領域においても一般の学生ばかりでなく教育に関心のある社会人および現職教員を歓迎します。

大学院『専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈学生の受け入れ方針〉

人間科学専攻（心理学）博士前期課程

1. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

博士前期課程では、心理学および関連領域において、研究倫理を遵守しながらも、広い視野に立ち柔軟な思考と的確な判断力を持ち、また、主体的に探求を続ける姿勢を持ち、高度な専門性に基づいた地域および国際社会に貢献できる修了生を社会に送り出します。

2. 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程では、視聴覚情報研究・発達心理学研究・臨床心理学研究の各領域において専門性を深めるとともに、他領域についても学び幅広い学識と国際的な視野を獲得するために、体系的で幅広い学識を養うための演習・実習などのコースワークと研究能力の育成を目指すリサーチワークのバランス性に配慮したカリキュラムを編成しています。

3. 学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

博士前期課程では、各課程で学ぶための基礎的な十分な知識と能力を持ち、さらに豊かな人間性と高い倫理性を備えており、修了後には大学院で培われた人間性をもとに、専門的な職業において社会に貢献することを目指している方を積極的に受け入れます。

(2018年3月7日更新)